

製品名: ICAM-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12338**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	ICAM2
別名	ICAM2; Intercellular adhesion molecule 2; ICAM-2; CD antigen CD102
遺伝子 ID	3384.0
SwissProt ID	P13598
免疫原	抗血清はヒト ICAM2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

背景

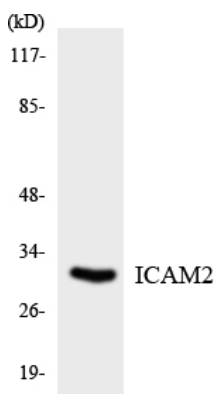
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞間接着分子 (ICAM) ファミリーのメンバーです。すべての ICAM タンパク質は I 型膜貫通糖タンパク質であり、2~9 個の免疫グロブリン様 C2 型ドメインを含み、白血球接着タンパク質 LFA-1 と結合します。この

タンパク質は、LFA-1 依存性細胞接着を阻害することで、リンパ球再循環において役割を果たしていると考えられます。抗原特異的免疫応答、NK 細胞を介したクリアランス、リンパ球再循環、そして免疫応答と監視に重要な他の細胞間相互作用に重要な接着相互作用を媒介します。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能：ICAM タンパク質は、白血球接着タンパク質 LFA-1 (インテグリン α -L/ β -2) のリガンドです。ICAM2 は、LFA-1 依存性細胞接着を阻害することで、リンパ球再循環において役割を果たしていると考えられます。抗原特異的免疫応答、NK 細胞介在性クリアランス、リンパ球再循環、および免疫応答と監視に重要な他の細胞間相互作用に重要な接着相互作用を媒介します。、オンライン情報:ICAM-2,類似性:免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。ICAM ファミリー。、類似性:2 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、

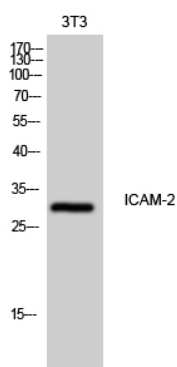
研究分野

細胞接着分子 (CAM) 、ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性、

画像データ



ICAM2 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



ICAM-2 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析